

トランスジェンダーの友人や家族へ。100人のメッセージ一斉公開
2022年3月31日（木）、「世界トランスジェンダー可視化の日」に合わせて当事者団体が企画



トランスジェンダーに関する情報サイト「trans101.jp」では、「トランスジェンダーのあなたへ。100人のメッセージプロジェクト」として、トランスジェンダー当事者の友人や家族など100名から寄せられたメッセージを2022年3月25日に同サイト上で公開しました。URL：<https://trans101.jp/2022/03/20/march31>

3月31日「世界トランスジェンダー可視化の日（International Transgender Day of Visibility）」に合わせて行う本企画では、トランスジェンダー当事者の友人、家族、恋人、同僚などから寄せられた100名分のメッセージを、原則すべて原文のまま「trans101.jp」サイト上で公開しています。

普段はなかなか言えない感謝の思いや、熱い応援メッセージ、他愛ない近況報告など、身近な人からの様々なメッセージを通じて、トランスジェンダーの人々が周囲の人と関わりあいながら共に生きるリアルな姿を発信しています。

企画の背景・目的

毎年3月31日「世界トランスジェンダー可視化の日」は、トランスジェンダーの人々が共に社会で生きていること、さらにはトランスジェンダーの人々が直面している差別や困難に関する認知拡大のための世界的な記念日です。日本においても、無理解や偏見などにより、学校やSNSでのいじめや暴力、就職活動時および職場での差別的扱いなど、不当な差別が数多く存在し、多くのトランスジェンダーが日常的に困難に直面しています。

本企画は、トランスジェンダーの可視化を目指すとともに、その家族や友人など周囲の人々の視点に焦点を当てることで、トランスジェンダーと共に生きるアライの存在を可視化し、トランスジェンダーへの差別やヘイトを許さない社会の醸成に寄与することも目的としています。

また、トランスジェンダーの中にはカミングアウトを望まない人も多く、トランスジェンダーの可視化には常にプライバシーの問題が付きまといまいます。本企画では、トランスジェンダー当事者のプライバシーを守りながらも、トランスジェンダーの人々が共にこの社会で生きていることを発信するために、敢えて、当事者ではなく家族や友人などの周囲の人のメッセージに焦点を当てています。

集まったメッセージ例※一部抜粋

・親から子へのメッセージ

トランスガールの我が子へ

小学校卒業、おめでとう。「女の子がよかった」と泣いたあの日から、もう6年以上経ちました。スカート履いての入学、女子トイレの使用、不要な男女分けの見直し、どれもはじめは学校が「いいよ」と言わなかった中、それでもあなたは、自分である為に、スカートを履き、女子トイレを使用しました。毎日、学校に行く小さな一歩一歩が、周りを動かしたね。問題ではないとみんなが気がついたから。次のステージ中学でも、またスカートを選んだあなた、やるじゃん。きっと大丈夫だよ。



・友人からのメッセージ

私の親友へ

初めて出会ったのは2年前、出会った瞬間はこんなにも身近な存在になるとは思っていなかったね。2人でご飯に行った時にトランスジェンダーだとカミングアウトしてくれて自分を隠さず出してくれた親友。恥ずかしい事にこれまで周りにはLGBTQの人は居ないと私は勝手に思い込んでいました。親友がカミングアウトしてくれたことで私の見えなかった(気にしていなかった)世界が見えるようになりました。

おかげで今では職場でもLGBTフレンドリーを広げることができ、アライとしてみんなの「なりたい自分になる」をお手伝いしています。親友には感謝とあんまり無理しないでねでもしっかり応援していることを伝えたいです。出会ってくれてありがとう。

サイト上のメッセージ掲載例

<p>トランスガールの我が子へ</p> <p>小学校卒業、おめでとう。「女の子がよかった」と泣いたあの日から、もう6年以上経ちました。スカートを履いての入学、女子トイレの使用、不要な男女分けの見直し、どれもはじめは学校が「いいよ」と言わなかった中、それでもあなたは自分である為にスカート履き、女子トイレを使用しました。毎日、学校に行く小さな一歩一歩が周りを動かしたね。問題ではないとみんなが気がついたから。次のステージ中学でも、またスカートを選んだあなた、やるじゃん。きっと大丈夫だよ。</p>	<p>私の親友へ</p> <p>2人でご飯に行った時にトランスジェンダーだとカミングアウトしてくれて自分を隠さず出してくれた親友。恥ずかしい事にこれまで周りにはLGBTQの人は居ないと私は勝手に思い込んでいました。親友がカミングアウトしてくれたことで私の見えなかった(気にしていなかった)世界が見えるようになりました</p> <p>めがねのとなりM </p>	<p>一緒に働いていた頃、いつも大変な業務を助けてもらっていて本当に心強かったです！でも退社の日にこの会社で「生きて、働いていいんだ」と心から思えた」とメールをもらい、これまでどれだけ辛い思いをしてきたのか想像をすると胸が苦しくなって、その言葉が今も忘れられません。ダイバーシティと向き合うきっかけにもなりました。私も心から「どんな違いのあるひとでも働ける社会」を願っています。ここにも同士がいること忘れないで！</p> <p>オオキ </p>
---	--	---